

令和6年度決算の概要

令和7年6月25日(水)に組合会が開催され、令和6年度決算が承認されました。

1 共通事項

団体数及び組合員数等

【団体数】：32団体

◇ 団体数は、東京都1、特別区23、その他組合等8の合計32団体です。

【組合員数等】

◇ 組合員数は、5年度末から3,417人増加し、168,956人となりました。

◇ 被扶養者数は、5年度末から1,061人減少し、96,698人となりました。

(単位:人)

区 分	令和6年度末	令和5年度末	増減
組 合 員 数	168,956	165,539	3,417
被 扶 養 者 数	96,698	97,759	△ 1,061

2 短期経理

短期経理は、医療給付及び介護保険等に係る短期給付事業を行っています。

- ◇ 6年度は、短期分で財源率を引き上げ、介護分で財源率を据え置きました(短期分83.60%、介護分18.64%)。
- ◇ 収入総額は1,103億円、支出総額は1,176億円となった結果、収支差引で73億円のマイナスとなりました。
- ◇ 主に保健給付等の570億円のほか、高齢者医療制度等への拠出金等の508億円を支出しています。
- ◇ また、6年度の組合員一人当たりの医療費等は、前年度と比べて、6,469円(2%)増加しました。

【短期経理の決算額】

(単位:百万円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減
収 入	110,319	95,280	15,039
支 出	117,606	109,456	8,150
収 支 差 引	△ 7,287	△ 14,176	6,889

【組合員一人当たりの医療費等】

(単位:円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減	増減率
医療費等	337,140	330,671	6,469	2.0%

3 長期経理

長期経理は、年金に係る長期給付事業を行っています。

- ◇ 収入総額は3,976億円、支出総額は3,877億円となった結果、収支差引で99億円のプラスとなりました。
- ◇ 平成19年度以降、年金受給者数が長期組合員数を上回り続けています。

【長期経理の決算額】

(単位:百万円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減
収 入	397,587	422,788	△ 25,201
支 出	387,676	403,806	△ 16,130
収 支 差 引	9,911	18,982	△ 9,071

【年金受給者数・長期組合員数の推移】

(単位:人)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年 金 受 給 者 数	159,615	160,580	158,210	157,621	158,368
長 期 組 合 員 数	125,887	125,887	127,759	130,127	131,890

4 福祉経理

福祉経理は、組合員等の健康の保持増進に必要な保健や保養などの福祉事業を行っています。

【福祉経理(保健経理等)の決算額】

(単位:百万円)

区 分	保健経理	保養経理	会館経理	貸付経理	計
収 入	4,681	60	1,517	194	6,452
支 出	3,939	186	1,547	151	5,823
収支差引	742	△126	△30	43	629

(1) 保健経理

- ◇ 保健経理では、人間ドック利用助成のほか、運動習慣づくり支援としての委託体育施設利用、夏・冬季やリフレッシュ宿泊施設等の借上げ、シティ・ホール診療所の運営等を実施しています。
- ◇ 各事業の利用者数について、人間ドックや特定健診等で5年度より減少したものの、コロナ禍前の元年度の水準を上回りました。一方、委託体育施設や借上施設等で5年度より増加しました。

【人間ドックの健診実績】

(単位:人)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減	令和元年度
人間ドック	17,134	17,531	△ 397	16,538

【借上施設等稼働の実績】

(単位:箇所、人)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減	令和元年度
施設数	780	744	36	804
利用人員	74,068	70,986	3,082	87,943

※借上施設等とは夏・冬季施設、リフレッシュ施設及び島しょ勤務者向けの都内宿泊施設を言います。

【健康づくりの支援実績】

(単位:人)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減	令和元年度
委託体育施設等	196,939	193,125	3,814	221,863

【シティ・ホール診療所の利用実績】

(単位:人)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減	令和元年度
延べ患者数	27,308	26,175	1,133	32,872

【特定健診・特定保健の指導実績】

(単位:人)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減	令和元年度
特定健診 (被扶養者等)	6,505	6,807	△ 302	5,492
特定保健指導	6,241	5,926	315	6,127

(2) 宿泊(保養・会館)経理

- ◇ 宿泊経理では、箱根路開雲とアジュール竹芝の運営を実施しています。
- ◇ 箱根路開雲(保養事業)の利用者数は、前年度と比べて1,234人減少し、23,306人となりました。
- ◇ アジュール竹芝(会館事業)の宿泊利用者数は、前年度と比べて5,265人増加し、52,471人となったほか、宴会・会議の利用者数は、7,046人減少し、41,815人となりました。

【箱根路開雲利用者数】

(単位:人)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減	平成30年度
延べ利用者数	23,306	24,540	△ 1,234	28,949

(注)令和元年度は改修工事に伴休館があったことから、比較対象年度を平成30年度としている。

【アジュール竹芝利用者数】

(単位:人)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減	令和元年度
宿 泊	52,471	47,206	5,265	54,271
婚 礼	618 (21組)	741 (19組)	△123 (2組)	2,548 (60組)
宴 会 会 議	41,815	48,861	△ 7,046	47,538
人間ドック (日帰り)	10,422	10,472	△ 50	11,021
特定健診・特定 保健指導	438	453	△ 15	677

(注)宿泊、人間ドック(日帰り)・特定健診・特定保健指導は年間利用者数であり、婚礼、宴会・会議は延べ利用者数である。

令和7年9月25日更新

令和6年度決算における計上漏れについて

- 当組合は、地方公務員共済組合連合会との間で、厚生年金拠出金負担金を支出し、厚生年金交付金を収入しています。
- この負担金と交付金については、同額を相殺し、残りの差額分について現金で支出、もしくは収入しています。
- 令和6年度決算において、上記の相殺処理の一部に当たる 39,213,370,256円の計上漏れが厚生年金拠出金負担金及び厚生年金交付金にそれぞれ生じました。
- 上記金額については、法令に従い、令和7年度決算において、前期損益修正損及び前期損益修正益に計上します。
- 本件計上漏れは、厚生年金の支給額や保険料、厚生年金保険積立金に影響を及ぼすものではありません。

【問合せ先】

管理部財務課計理担当

☎03(5320)7311